

都心で生物多様性に配慮した 緑化に取り組む

三井住友海上火災保険株式会社

MS&AD

三井住友海上



ECOM駿河台と緑豊かな前庭緑地

なぜ損害保険会社が「緑化」?

三井住友海上が本社である駿河台で緑化に取り組み始めたのは1984年、今から30年以上も前のことです。屋上庭園を備え、敷地割合が4割を超える緑化は画期的なことでした。ではなぜ取り組んだのか。それは地域のみなさまからの「まちに緑を増やしてほしい」という声に応えるためでした。本社ビルの建設にあたり「地域との共存共栄」をコンセプトにしたのです。

東京・千代田区の“駿河台”という場所で取り組む意義

駿河台は皇居と上野公園という緑豊かな拠点の中間にあります。この地で緑が増え、野鳥が往来する「鳥の駅」として機能できれば、エコロジカル・ネットワークを作れると考えました。過去からの野鳥観察データをもとに誘致目標種を設定し、その野鳥が好む樹種の中からアレルギーなど人体への影響がないこと、在来種であるか、蝶や蜂などの蜜源植物かどうかなどを検討し、一本ずつ樹種選定を行いました。都心の緑地として、生物多様性ととも人にやさしく配慮しています。

緑地の持つ可能性

緑があると、少しほっとしませんか?ビルの多い千代田区の中で7,000㎡を超える緑地を運営することは、都会のオアシスのような役割を果たしているのではないかと考えています。屋上庭園の中には菜園も設け、25区画を近隣の方たちに無料で貸し出しています。長年この地域に暮らす方からは「このコンクリートに囲まれた駿河台で野菜が育てられるとは思わなかった。楽しい!」という声もいただいています。近年、異常気象で水害が多発しています。実は、緑地はこの点でも役割を果たしています。植物が放出する水蒸気がヒートアイランド現象を和らげ、緑地が雨水を貯めること(蓄雨効果)で都市水害の被害を減らすのです。

何もないうときには楽しい緑、何かあるときには頼りになる緑。損害保険会社として、そんな緑地を運営していきたいと考えています。屋上庭園は直通のエレベーターで時間内はどなたでも自由にご覧いただくことができ、その向かいにあるECOM駿河台という施設では、生物多様性のすばらしさや面白さを体験していただくイベントや展示を行っています。お近くにお越しの際はぜひ遊びに来てください。

ECOM 駿河台・屋上庭園開園時間

ECOM 駿河台: 平日10時~17時

屋上庭園: 平日10時~17時(11月~3月は16時まで)

<http://www.ms-ins.com/company/csr/environment/afforestation/>



25区画を貸し出す屋上菜園



菜園で元気に育ったミニトマト

三井住友海上火災保険株式会社は、ユースの環境活動を応援しています。